

モンゴル事務所ニュースレター 2019年6月号

トップニュース

モンゴル初の大学病院「日本モンゴル教育病院」の施設完成式典を開催



6月16日、無償資金協力により整備された「[日本モンゴル教育病院](#)」の施設完成式典が開催されました。フレルスフ首相、河野外務大臣以下、両国政府要人などが参列する中、首相からはモンゴル初の大学病院として優秀な医療人材育成への期待が述べられました。今後の診療サービス開始に向け適切な準備が進められるよう、技術協力「[日本モンゴル教育病院運営管理及び医療サービス提供の体制確立プロジェクト\(PJ\)](#)」により協力を続けていきます。

プロジェクトの動き

障害児のための教育改善PJの成果共有セミナー開催



5月28日、技術協力「[障害児のための教育改善PJ](#)」の成果共有セミナーが開催され、約150名が参加しました。2019年7月にPJ終了が予定される中、PJで構築した早期発見・診断・教育モデルや発達アセスメントツールなどの成果が紹介されました。中でも、労働・社会保障省、教育省、保健省により「障害児のため包括的な発達支援ガイドライン」が承認されたことは大きな成果です。当日のセミナーは現地TVニュースでも取り上げられ、動画はJICAモンゴル事務所[Youtube](#)にアップしていますので、是非ご覧ください。

生命科学大学獣医学部のカリキュラム改訂などに取り組んでいます



6月12日、技術協力「[獣医畜産分野人材育成能力強化PJ](#)」の第7回合同調整委員会(JCC)が開催され、モンゴル生命科学大学学長を始めとする多くの関係者が参加しました。本PJは、当初2019年4月末に終了予定でしたが、2020年5月まで延長し、同大学獣医学部のカリキュラム改定や運用改善などを実施しています。本JCCでは、残るPJ期間中の活動内容やスケジュールなどを関係者間で確認し、PJ終了後も持続的に同学部の教育の質が改善される仕組みづくりに取り組む予定です。

信用格付け機関(CRA)に関するワークショップを開催



6月13日、技術協力「資本市場規制・監督能力PJフェーズ2」の活動の一環で、日本及びバングラデシュの格付け機関(CRA)の代表者を講師として迎え、金融監督委員会(FRC)や大蔵省などの関係者を対象に、資本市場における投資家保護の観点から、格付の法的規制条件やCRA設立の意義、各国の事例を紹介するとともに、資本市場の参加者(商業銀行や保険会社など)向けに、モンゴルのような信用情報が十分蓄積されていない資本市場での格付会社が果たす役割やスコアリングモデルの具体的事例を紹介しました。参加者の関心が高く、意見交換が白熱し、有意義なワークショップとなりました。

ウランバートル（UB）市大気汚染対策能力強化PJフェーズ3 第二回目のJCC開催



6月7日、技術協力「[UB市大気汚染対策能力強化PJフェーズ3](#)」の第2回JCCが開催されました。UB市大気汚染対策庁や自然環境・観光省などの関係者が出席し、PJ開始から半年間の活動進捗状況と今後の活動予定が報告されたほか、より実効性のある大気汚染対策への取り組みと関係機関の連携強化が確認されました。今後はパイロットPJで改良燃料を制作・効果を計測したり、自動車排ガス削減に向けた信号制御を試験的に実施する予定です。

その他の事業の動き等

- ・6月14日：藤井稔長期専門家（建設分野における労働安全管理能力強化PJ）離任
- ・6月30日：大熊浩長期専門家（一次及び二次レベル医療施設従事者のための卒後研修強化PJ）着任

ボランティア事業の動き

ボランティア活動紹介（保健医療・リハビリ・障害児者支援分野隊員の合同分科会）



6月6日、保健医療・リハビリ・障害者支援分野のボランティア分科会（ソロンゴの会）が開催され、関係ボランティアと配属先の医療従事者計24名が参加しました。同会合では、『食』がテーマとして取り上げられ、栄養（健康食）、口腔ケア、障害者に対する食事介助の仕方、病院食あるいは介護者向けのとろみを付けた食事、顔の体操などが実践的に紹介されました。参加者からは、今回の会合で取り上げた内容を各配属先で実践したい、各任地で同様のセミナーを実施したいと言った声があがり、関係者が連携し情報を共有する貴重な機会となりました。

その他のボランティア情報

- ・6月24日 JOCV2017-2次隊1名離任：福島 未希（理科教育／ドンドゴビ県教育・文化・芸術局）



研修・帰国研修員同窓会

二木先生講演会「モンゴルと日本の歩み」開催



6月5日、JDS 帰国留学生同窓会、JICA 帰国研修員同窓会、JICA モンゴル事務所共催で、二木博史東京外国語大学名誉教授による講演会「「モンゴルと日本の歩み」を開催しました。講演では、1911年の独立宣言時のモンゴルの様子やノモンハン事件、現在及び将来の日本とモンゴルの関係など、モンゴルと日本の近現代を網羅的に紹介いただきました。本講演を通じて、JICA 帰国研修員や JDS 帰国留学生とともに、改めて二国間関係を考える良い機会となりました。

事務所ナショナルスタッフが日本語で執筆！

コラム ～モンゴルの文化・生活事情紹介～ 「ナーダムのホーショール」

モンゴル最大のお祭り「ナーダム」は毎年7月に全国各地で開催されます。そんなナーダムに欠かせないのが、小麦粉の生地でひき肉を包み、油で揚げた「ホーショール」です。ナーダムのホーショールは形が丸くて、肉が少なめなところが特徴です。ウランバートルのナーダム会場のスタジアムでは市民の多くがホーショールを頬張っています。値段は1枚1,000トゥグルク（50円弱）ですが、揚げたてで熱々のホーショールが一番おいしいです。（ボロル所員）

